

WORKS

Empower&Energize

No115
2008/5

名東福祉会は名古屋市と日進市を中心に
知的障害者を中心とする福祉活動を行っています

福祉ケアの生産性を 高める

理事長 加藤久和

相変わらず知的障害者福祉の環境は厳しさを増している。

食料品を中心とした物価が上がり、障害がある人たちの生活がますます厳しくなっている。激変緩和措置の中心は利用者の自己負担の軽減だったため社会福祉法人の収入は回復していない。知的障害者の生活を実質的に支えている家族が高齢化している。主たる収入は年金。親も福祉ケアが必要になりつつある。

福祉は人が提供するサービスだ。コストを削減するといっても名東福祉会の人件費率は70%を超えているため、節約できるところが少ない。

そうした中でどうやってこの難関を乗り切るのかといえば、やはり福祉ケアの生産性を高めるしかない。生産性とはひとりあたりの職員が生み出した付加価値のことだ。

具体的には人的な配置の無駄や無理を見直すこと。プログラムの選択と集中が大切となる。

かといって、福祉ケアの質を低下させることは断じて許されない。より少

ない人数でこれまで以上の質を確保する方法を開発することを継続的に続けることが大切だ。

プログラムの選択と集中をするには名東福祉会にはどんな使命が課せられているのかを確認する必要がある。

私は名東福祉会の使命は障害が重い人たちに良質なケアを提供することだと思う。もちろん障害が重い、軽いは障害程度区分ですらあいまいなのでその定義が難しいが継続的な支援が福祉施設で必要な人たちのことをいう。やはりほんとうに重篤な問題を抱えている人にケアを提供することが社会福祉法人の本来の使命ではないか。

選択と集中をガイドラインにプログラムや事業内容を見直し、できるだけ職員が分散することを防ぐ。

情報通信の技術を活用し、地域で展開されている事業所の情報を共有する。

各種センサーやロボットなどを導入し、人ではなくてもできる部分は積極的にロボットで対応する。

ただそうした方法を行っても効果はあるが決め手とはなりにくい。やはり福祉ケアの生産性を高めるにはケア技術を高めることが大切だ。ケア技術を高めるための研修や投資は費用を伴うもののこの難局だからこそむしろ積極的にこなうべきだ。

知的障害者福祉の場合、職員のケア技術は数か月で身に付くものではない。何年もかかって安全で安心でき、障害がある人たちとともに生きていくことができるプロの職員になる。そのためには長く勤務していただけるように労働環境を改善することと、長期的な視点で人材を育成していくことが必要だ。名東福祉会は今後職員の正職員化を進めていき、人材の長期的育成に努める。また若いスタッフにどんどん重要な業務を担っていただき、マンパワーを活性化していきたい。

福祉ケアの生産性を高めるためには、家族会の協力も不可欠だ。高齢化している家族会にそれを求めるのはたいへんだが、せめてスタッフの応援はお願いしたい。

奈々枝日記

桜は散るときがいちばん
美しい

このところレジデンス日進の前の数本の桜が満開でとても美しい景色でしたが、今日は新しい年度の入学式に参列するらしい、着飾った3人連れの親子の上にハラハラと桜が散り始めまし

た。えもいわれぬ美しい景色でした。

先日、グループで座談会をした親さんたちの中に発達障害のお子さんを持つ方がおられました。

そのなかには巣立ちへの不安を語られた親さんも居られました。

新しい学校での不安は、もともと思いますが、どうぞお母さんたち、ピリピリと過敏にならず、お母さん自身がゆつたりとおおらかに暮らしてほしいと願います。

障害がある子どもの子育ては望みすぎてあきらめてもいけません。

「ほどほど」という言葉はいちばん難しいかも知れませんが、一日ひとつはよいことを見つけ、いただいた喜びに笑顔を忘れないようにしましょう。

いつも心豊かに子育てをしてほしい。そのためには美しい桜の散るのをゆつたりと眺めて豊かな心を忘れないこと。これからいっぱいいいことと出会いましょが、そんな時は美しい花を見るのが一番です。

2008年4月8日

つばめが来る家

レジデンス日進につばめが2羽帰ってきました。とても若々しく、美しい

つばめでした。昔からつばめが巣作りする家は栄えるといわれています。

つばめは稲を食べる虫を食べてくれます。お米さえあれば後はわずかな野菜や魚、時々卵で生きてゆけたわけですから、お米を守るつばめを大切にするためにそうした格言が生まれたのでしょうか。

また人が多く行き来する玄関は木の枝も取り払われて蛇などの恐ろしい天敵も少なく、雨露もしのげ、つばめにとつてもいごこちのよいところなのでしょう。

でも私はそうした行動の成り立ちよりもつばめは大きな建物の中でも玄関という人の出入りの多いところに巣作りをして家を守っていると考えてしまいます。また知らず知らずのうちに人を守っていることで、つばめ自身も知らず知らず守られていると考えるのです。

知らず知らずのうちに、知らず知らず支えあう。それが生きているものあり方。何事にも感謝することが大切と考えてしまいます。

そうした考えとはぜんぜん関係なく、レジデンスの利用者さんたちはつばめが来るととても喜んで眺めています。利用者さんのほうが一枚上手です。

パネテリア・ロト内覧会

2008年4月18日

パネテリアロトの内覧会が今日行われました。家族会が対象で、各施設のお母さんたちが沢山来てくださいました。

「とても明るい感じ」

「おしやれ」

「広い」

「車椅子トイレまである」

「コーヒーもおいしい」

「ランチがあるといいね」

「駐車がたくさんできる」

「ここで何か催し物ができる」

「役員会をここでしようよ」

「赤池から4人でタクシーに乗ると150円。くるりんバスより安い」

などなど、とても好評でした。沢山来てくださってありがとうございます。

ボランティアさんもたくさん来てくださったって助かりました。傑作なのは一般の若いカップルまで入ってきてお母さんたちのずらり並んだ圧力に押しそれでそのまま帰って行かれたことです。

利用者さんたちはいつもより楽しげにクッキーづくりの作業をしています。お弁当も、ボランティアの皆さんと一緒に楽しく食べました。さあ、明日は利用者さんたちが来てくれます。私どもががんばらなくっちゃ!!

小島一郎の支援センター日記

自閉症の方への地域支援

地域でヘルパー利用しながら暮らしている障害児者は多い。利用の仕方は様々だが、「身体介護」という共通点から、高齢者へのそれと似通ったイメージをもちやすい身体障害の方々に対し、知的障害の方々は独特である。「家事援助」なら、これも使い方は共通するが、ご家族と同居してみえる方々が多いのでメジャーとは言えない。やはり、知の方だと親のレスパイトの意味も含めての「見守り」とか「移動支援」とか、その延長線上の「行動援助」とか、本人の動きに寄り添うイメージである。

これら、知的障害の方へのサービスには、必要があれば、支援としての行動制止が伴ったりするのも特徴的である。信号が分からずに道路を渡ろうとする方や、お店で欲しいものを手にして放さない方、人によつては、食べられないものを口にしてしまう、混乱すると奇声を上げる、急に走り出す……

こういった場面が日常的な方には、経験のあるヘルパーによる適切な制止、もつと言えれば適切な事前対応によるトラブルの回避が求められる。要は、特別な技術が必要とされやすい訳である。

知的障害の方々のヘルパー利用は、少なくとも名古屋では、支援費制度に先立つこと数年の、ガイドヘルパーに遡ると思う。平成14年頃であろうか。当時は、重度の方への支援は「職員が親でなければ無理」という風潮が強かったが、それではいつまで経っても、彼らの自立には繋がっていかないのではないかと、むしろ「誰でもできる支援」を意識的に打ち出していったと記憶している。お陰で、制度改正やサービス拡大の流れにのって、最近では重度の知的障害の方でも、当たり前のようにヘルパー利用できるようになった。

が、ここにきて、拡大したが故の悩みも生じている。知的の方々の中で、支援上の困難・課題を抱えやすいのが自閉症の方々である。元々、固執行動やスケジュール遵守への配慮、パニック等の不安定行動への対応など、経験の蓄積をもつ施設職員でも一仕事であるのは事実である。ヘルパー利用の開始時には、事業所への本人情報や対応方法の伝達は必須である。ただ、週末

だけの余暇支援や、毎日でも短時間の移動支援ならこれでも済むが、問題は毎日長時間に渡っての利用が必要なケース。成人であれば在宅で、例えば毎日9時〜17時といったケアが必要だとか、学齢児であれば下校する15時〜19時の親の帰宅時とかいう場合、一日当たりでもヘルパーが何度も交代するし、曜日によっても入れ替わる。当然、都合が悪くなったり、体調を崩したりすると、更にヘルパーが入れ替わる。こうなってくると、情報共有自体が困難になってくると、人によつて受け取り方や対応にどうしても差異が生まれる。また、ご本人はそもそもが、様々な他者との接触を苦手とする方なので、何もなくてもストレスを感じるであろう。そうこうするうちに、外出時に大変なトラブルを起こしてしまったり、特定のヘルパーがケアに入ると不安定になる、といったシナリオ通りの展開が待ち受ける。挙句の果てには事業所が音を上げるか、ご家族が本人の不安定をヘルパー個人のせいにして締め出すか・・・となる。困難は承知で、必要に基づいて行っていることなので、ああでもないこうでもないと言いつつ、何とかしていくのだが、なかなか大変である。ちなみに、ある方はこの月末の押し迫った段階で、来月のスケジュールが立っていない。

それこそ、同じ施設内で10名程度の職員の対応をコントロールしていくのも大変であることを考えると、地域で入れ替わるヘルパー一人一人の動きをコントロールすることは至難の業と言つても過言ではない。ご家族には、それを承知でヘルパー利用を考えていただけるとありがたいのだが、長時間連日利用するには、それなりの理由がある訳で、このような支援者側の事情への理解を求めても始まらない。外はうらかな春であるが、内心はトホホである。

渡る世間は鬼ばかり

以前、高齢の母親と知的障害をもつその子ども・・・みたいなことを話題にした覚えがあるのですが、最近、これ系の問題が起こったのでご報告(?)を。

もう、絵に描いたような話です。始まりは、ヘルパー事業所からの一本の電話。「〇〇さんからお聞きしたのですが、ご自宅のトイレの具合が悪くなったので、業者に電話して見てもらったそうです。洗面の具合も悪く、一緒に修繕した方がよいということになりました。ただ、70〜80万ほどかかるそうです。金額が金額なので、

一応、お伝えしておこうと思いましたが、すぐに、遠方に住む弟さんにご連絡して確認してもらったところ、要は訪問の営業に引っかかって無用の工事をされる模様。弟さんがその会社に直接電話して、「二度と来るな」と釘を刺して、一段落しました。

話だけ聞くと、「遠方の弟に電話する前に、支援Cで何とかしろよな」というお叱りが聞こえてきそうなのですが、トイレの状態とか、修繕するかしらとか、費用はどの程度が適当かとか、どんな業者がいいのかとか、価値判断要素が多過ぎて責任取れないパターンです。一方で、同じような世帯で、「急に業者が来て天井の修繕して、お金も取らずに帰った」という連絡もあつたのですが、公営住宅にお住まいの方で、認知症のお母様が天井の不具合を供給公社に連絡し、業者による修繕の連絡を受け、日程を打ち合わせした挙句に全て忘れてしまったことによる騒ぎでした。

前者のケースに登場する悪質業者の名前を、せつかくだから公表したい位ですが、訴えられても困るので止めておきます。ですが、何にしても酷過ぎます。まさに、「渡る世間は・・・」という感じです。この世帯は、数年前にも同様のパターンで浄水器を買わされており、そのときも弟さんが知人の

弁護士を通じて処理したのですが、この弟さん、かなり社会的地位の高い方なので、解決手段にも恵まれていたものの、普通の人々は戦々恐々ですよね。ちなみにこの弟さん、お話しているとき、いかにも仕事できる上司って感じで、お付き合いしていく我々としては身の引き締まる思いです。

ニュースで見聞きしていることが、身近に起こってしまうことに驚きながらも、それが支援Cというエピソードでした。

編集後記

東北地方のある漁村の「健康センター」を利用する機会があった。大都市のように外国人は雇用されておらず、地元の人たちが中心となって作りの運営がなされていた。決して洗練された仕事とは言い難い。しかし手作り感があり、健康センターの存在意義そのものの「和み」を感じる事ができた。▲もちろん外国人が悪いというのではない。労働賃金の低さだけに目をつけて汚い、キツイ、苦しい仕事を他者に回そうとする姿勢が「和の国」らしさから遠ざける発想なのではないかと。福祉分野についても外国人労働者への門戸を開放することが検討されているが、かえって福祉の本質から離れる気がしてならない。

ご寄付ありがとうございました

平成20年3月26日～4月25日

天白ワークス
長谷川聡様
山田詳一様
杉本四三男様
阪野しずか様

はまなす
加島美奈様
牧公三様
佐知輝敏様
木村恵子様
後藤良昭様

レジデンス日進
レジデンス日進家族
会様

名東福祉会のホームページ

ホームページアドレス <http://www.meito.or.jp>

●社会福祉法人 名東福祉会

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上納 58-4
TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●メイトウ・ワークス

〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303
TEL 052(702)2863 FAX 052(701)2079

●天白ワークス

〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327
TEL 052(804)5487 FAX 052(804)5416

●デイケア はまなす

〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911
TEL 052(704)7551 FAX 052(704)7552

●レジデンス日進・ハートフルアクト日進

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上納 58-4
TEL 052(805)1003 FAX 052(805)1004

●こいけホーム

〒465-0047 名古屋市名東区小池町 468-1
TEL 052(777)8385 FAX 052(777)8385

●天白ホーム

〒468-0021 名古屋市天白区平針字大根ヶ越 141-3
TEL 052(807)1578 FAX 052(807)1578

●児童行動療育センター「たけのこの家」

〒470-0124 愛知県日進市浅田町上の山 14 番3
TEL 052-800-2203 FAX 052-880-2204

●メイ・グリーン

〒470-0124 日進市浅田町平池112-3